

連結決算報告書

第 29 期

自 平成25年 9月 1日

至 平成26年 8月 31日

株式会社 アントレックス
新宿区新宿 2-19-1, 7F

連結貸借対照表

(平成26年8月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流 動 資 産	5,036,492	流 動 負 債	2,299,665
現金及び預金	2,531,994	買掛金	259,488
受取手形及び売掛金	1,058,212	短期借入金	1,015,996
商 品	1,100,815	1年内償還予定の社債	178,200
繰延税金資産	222,998	1年内返済予定の長期借入金	273,578
そ の 他	123,819	未払法人税等	177,925
貸倒引当金	△ 1,347	賞与引当金	25,995
		返品調整引当金	142,147
		そ の 他	226,335
固 定 資 産	2,107,764	固 定 負 債	2,023,209
有形固定資産	1,462,139	社 債	183,600
建物及び構築物	125,918	長期借入金	1,770,588
機械装置及び運搬具	9,691	退職給付に係る負債	19,800
土 地	627,850	資産除去債務	48,906
建設仮勘定	640,701	そ の 他	315
そ の 他	57,977		
無形固定資産	129,476	負債合計	4,322,875
投資その他の資産	516,147	(純資産の部)	
投資有価証券	20,195	株 主 資 本	2,808,206
繰延税金資産	3,506	資 本 金	100,000
敷金及び保証金	395,293	資 本 剰 余 金	543,568
そ の 他	108,072	利 益 剰 余 金	2,164,637
貸倒引当金	△ 10,920	その他の包括利益累計額	△ 2,725
		その他有価証券評価差額金	177
		為替換算調整勘定	△ 2,902
		新株予約権	15,900
		純 資 産 合 計	2,821,380
資 産 合 計	7,144,256	負 債 ・ 純 資 産 合 計	7,144,256

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨て表示しております。

連結注記表

1. 連結の範囲に関する事項

(1) 連結子会社の数 2社

連結子会社の名称 (株)Umbra Japan、UNITREX, LTD.

2. 会計処理基準に関する事項

(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

① 有価証券

イ. その他有価証券

時価のあるもの……決算日の市場価格等に基づく時価法 (評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)

時価のないもの……移動平均法による原価法

② たな卸資産

イ. 商品……移動平均法による原価法 (貸借対照表価額については、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)

③ デリバティブ

時価法

(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

……定率法 (ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物 (附属設備を除く) は定額法)
主な耐用年数 建物及び構築物 5~38年、機械装置 5~17年

② 無形固定資産 (リース資産を除く)

……定額法

なお、自社利用ソフトウェアについては、社内における利用可能期間 (5年) に基づく

(3) 重要な引当金の計上基準

① 貸倒引当金 ……債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個々の債権の回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上

② 賞与引当金 ……従業員賞与の支給に備えるため、賞与支給見込額のうち当事業年度の負担額を計上

③ 返品調整引当金

……返品による損失に備えるため、過去の返品実績を基準として算出した見積額を計上

④ 退職給付引当金

……退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき計上

退職給付引当金及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用

(4) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式

3. 連結損益

(1) 売上高 8,351百万円

(2) 営業利益 459百万円

(3) 当期純利益 364百万円

以上